

JR連合結成25年 政策課題と組織課題のさらなる前進を図り、これからも安全で信頼されるJRを築こう!



http://www.jr-rengo.jp

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
facebook
twitter

第26回定期大会
組織を挙げて次代につながる運動を
積極果敢に展開



積極的な討論を導き出し、スムーズな進行で終始大会をリードした議長団

独善的かつ非民主的組織運営に決別
真に民主的なJR労働運動をめざし
結成して25年

JR連合は6月12日と13日、都内にて、第26回定期大会を開催し、来賓・代議的かつ非民主的組織運営に決別し、真に民主的なJR労働運動をめざし結成して25年の節目の開催となった。

会長挨拶(要旨)
JRの責任差別として
取り組みを強化しさらなる飛躍を

会長 松岡裕次



今年、JR発足30年、そしてJR連合結成25年の節目を迎える年である。いわゆるスト権委譲問題に端を発し、独善的かつ非民主的組織運営と決別、東海以西の各単組がJR総連を脱退し、25年前の1992年5月18日、真に民主的なJR労働運動をめざし、JR連合が結成された。この間、民主化闘争を中心とする組織課題、そして持続可能な総合交通体系をめざす政策課題など、多くの課題に直面し、解決・前進を図ってきた。

世界中で発生するテロの背景には、宗教や民族、政治的対立による。JR連合としての方針を提起する。JR連合が取り組むべき、「安全」「民主化闘争」「交通政策」「労働政策」「政治」の5点にわたる。

決別し、真に民主的なJR労働運動をめざし結成して25年の節目の開催となった。議長団にはJR西労組から榎野康代議員、JR九州労組から延時勝敏代議員を選出して議事が進められた。12人の代議員・特別代議員から、運動方針を補強する質疑を受けたのち、執行部から答弁を行った。討論を通して、JRを代表する差別としての責任と自覚を持ち、組織を挙げて次代につながる運動を積極果敢に展開していく決意を固め、運動方針と役員改選などすべての議案を満

- 新任役員紹介
上村氏と吉田氏が退任
新たに菅野氏、中村氏、北村氏が就任
会長 松岡 裕次 再
副会長 田原 孝蔵 再
副会長 菅野 一位 新
副会長 鎌田 茂 再
副会長 萩山 市朗 再
副会長 中濱 斉 再
執行委員 中村 鉄平 新
執行委員 北村 公次 新
執行委員 尾形泰二郎 再
執行委員 本田 雅明 再
執行委員 福森 敬和 再
執行委員 本庄 健一 再
執行委員 吉田 祥司
お疲れ様でした



新たな方針を決定し、その実践に向け重責を担う新役員

安全課題

福知山線列車事故、羽越本線列車事故の反省と教訓を胸に、労使の最優先課題との認識のもと、すべてのJRの職場の安全性向上にむけた取り組みを進めてきた。グループ会社・協力会社を含め重大事故や死亡労災に繋がりがかねない事象は撲滅には至っておらず、今年2月には労災死亡事故が立て続けに3件発生した。現場の声に基づいた徹底した労使協議を重ね、異業種交流や安全デイスカッションなどの取り組みを積み重ね、知恵を結集して補い、取り組みの底上げを行う必要がある。

今年10月には、ヒューマンエラーに焦点を当てた「第10回安全シンポジウム」を開催し、さらなる安全性向上に資するシンポジウムに仕上げていく。

民主化闘争

JR東労組のスト権確立に向けた動向について、スト権は労働組合の権利であり、全く否定するものではないが、かつて国鉄においては違法ストを繰り返したことで国民、利用者の信頼を失ったことを忘れてはならない。もし仮に目的が組織強化、温存のためだけだとすれば、国鉄時代の歴史を繰り返すものでしかない。労使協議や団体交渉でなぜ決着がつかないのか。JR東日本会社は今すぐJR東労組との「労使共同宣言」を破棄し、日本最大の鉄道会社として、責任ある行動を取るべきである。

JR北海道では、革マル派の浸透するJR総連・北鉄労が巨大な力を持ち、自由にもが言え、安心して働くことのできる職場環境が整っていないとの声も聞かれています。会社再生には、JR総連・北鉄労との蜜月関係の清算が欠かせない、経営陣は今こそ英断すべきである。

JR総連・日貨労は、JR東労組と同様に「いつでもたたかえる体制を構築する」ことを呼びかけるような動きがある。JR貨物にとつて、真のパートナーはどこが線教習以西の財源問題について責任ある対応をすすめていく。

2018年税制改正については、来年3月末で期限切れを迎える軽油引取税の減免措置をはじめとする税制特例措置については、再延長さらには恒久化を求めていく。

2017春季生活闘争は、JR4単組、グループ労組では一昨年の昨年を上回る42単組がベアを獲得し、賃金を含む労働条件の大幅な改善を図ることが出来た。ベア獲得には至らなかった単組でも、若年層や高齢層の賃金改善などを果たし、これらの積み重ねで生涯賃金は確実に増えている。一方で、法人税減税がなされる企業の内部留保は確実に増加しているものの、企業は「ヒト」への投資に積極的な姿勢を示していない。社会の公器として、日本経済、日本社会にどのような貢献ができるか、矜持を持って、決断していくべきである。

この間の25年、30年を振り返りつつ、JR各単組と、グループ労組92単組とともに、政策制度・組織課題を解決し、安全で社会に貢献するJRグループを築くため、本運動方針の実践を通じて、さらなる飛躍をめざしてまいります。

政治課題

一強体制の驕りと慢心は極まり、日本の将来に暗い影を落としている。民進党は、「すべての人が居場所と出番がある」共生社会をめざし、今こそ、将来世代に責任ある、ど真ん中の政策を掲げ、一致団結する姿を国民に示すべき。日本の将来のために、JR連合全組合員が一丸となって、衆議院解散総選挙および再来年の参議院選挙の準備を進め、一強政治体制にくさびを打つ闘いを展開すべきである。

地協における青女活動の充実

澤田代議員 (JR西労組・青女委員会)

北陸地協青女委員会は、昨年からの活動を再開し始めたことをご報告したい。私はこの北陸地方における産別の青女組織として、基本組織とともに安全の問題、政策実現、仲間づくり、組織拡大や民主化闘争などの運動を担っている。グループや他労組への働きかけなどにおいては地協の果たす役割が大きい。次代を担う青女世代が、産別の顔として地協の活動を行うことは、J

R連合運動の継続には必要

不可欠である。ぜひ、地協ごとに基本組織が取り組むグループ労組の組織強化や民主化闘争の取り組みにおいて、青女委員会にも役割

JR労働者の大同団結への方向性や将来展望を

須藤代議員 (JR西労組)

安全の取り組みに節目も区切りも無い。対象を軽視することなく現場を知る者の声を受け止め、真摯な労働使協議のもと安全文化の確立に向けて取り組む。春闘では、西バス、中バス、宮島フェリーを含め32

のグループでベアを獲得し、エリア連合として波及効果をもたらすことが出来た。国鉄分割民営化から30年が経過したものの、JR連合、JR総連、国労の労働界の三極構造は変わっていない。民主化闘争宣言の理

者的大同団結への方向性や将来展望をしかるべき時期に示し、JR連合運動を担う若手役員の指標とすべきである。現状の閉塞感から民主化闘争やJR連合への組織結集への意欲が後退することのないように戦略を

念を大切にしつつ、この30年成し得なかったJR労働

産別運動を経験しJR全体を俯瞰する視野を持つべき

池上代議員 (JR東海ユニオン)

新幹線脱線防止ガード落下事故や度重なる待避不良の発生は看過できない。関係会社や請負会社へのヒアリングを通じて、JR産業の

職場から挙げられる人材不足の問題に真正面から取り組んでいく。グループにおいて他労組が先導で東海ユニオン組合員やプロパー組合員に接することを危惧している。当該

職場から挙げられる人材不足の問題に真正面から取り組んでいく。グループにおいて他労組が先導で東海ユニオン組合員やプロパー組合員に接することを危惧している。当該

強会などを積極的に取り組んでいく。民主化支援行動において、あらゆる戦略を駆使し、積極果敢に、先駆的に仕掛けていくことが必要。戦略の提示と間断ない行動の指示を要請する。

代議員の発言に執行部が答弁

要旨

〈中山政治部長〉

青年・女性委員会には今年1年は本場に民主化闘争にしっかりと取り組んでいただきたい。各単組で取り組む民主化支援において、青女世代をしっかりと活用したい。相手を青女をしっかりと組織拡大できるように基本組織と青女の連携に取り組んでいきたい。

単組女性代表者会議は、

青女にしか女性がいなかったということもあって、青女組織の取り組みとして継続してきた。しかし、男女

JR労働界の一元化に向けて、これから青女世代が何に取り組みすべきかという点については、今回のユースラリーでも議論していただいた。労働組合がなぜ必要で、どんな意義があり、あるべき労使関係とはどのようなものかを、青女世代からしっかりと議論してい

女性の特例執行委員を中心に女性専従者を一人でも増やせるように執行部でも具体的に話を進めていきたい。また、女性の代議員数についても組織人員の女性比率がさらに増やせるよう、男女平等参画推進委員会や執行委員会の中で提起して取り組みたい。

新「中期労働政策ビジョン」の中で、働き方、ワーク・ライフ・バランスの実現についても取り組みを明記していく。グループ労組の女性組合員の組織人員や労働

世の中の賃金が上がっていくスピードに対して若干追いつけていないこともあり、あえて高い数値目標、要求水準を取り組んできた。各単組の中で制度改善でも賃金改善でも一歩ずつ取り組んでいくことが大事であり、今後も月例賃金にこだわ

これからの生産年齢人口が減っていく中で、労働力確保は重要な課題である。これから新しく立ち上げるプロジェクトで議論していく内容を政策課題ともリンクしてやっていきたいと考えている。高齢化と生産年齢人口の減少、第4次産業革命の到来によっても、雇用

我々もいろんな武器を提示していきたくて、賃金実態調査も含めて協力をお願いする。

九州の鉄道ネットワークの維持が非常に難しいことだということも重々承知しており、他のエリアにとっても共通の課題である。上場会社を支援することは難しいが、地域公共交通としての鉄道の取り扱いや位置づけを見直す必要がある。

必ず感情論や利害関係で衝突が起きるが、時間をかけて合意形成していくことが必要である。今、国に訴えていることは、専門的な知識を持ったコーディネーターの必要性である。また、青函共用走行区間の課題については現行の輸送体系に対する配慮は非常に重要だが、JR北海道の事業範囲の見直しとJR貨物の「選択と集中」をもセツトで検討していくことが必要。これらについては緊要の課題として、関係単組と

連携し政策提言を行っており、議員懇話会とも連携を強化していく。四国の新幹線については、2017年度の予算において幹線鉄道ネットワークのあり方に関する調査費が増額された。大臣答弁でも明確な考え方は運動方針の示したとおりである。この間の組織戦略会議などで各単組とも議論させていた。JR連合への総結集に向けて取り組んでいくことに何ら変わりないことを改めて訴えさせていた。



方針提起に真剣に耳を傾ける代議員

今回のユースラリーでも議論していただいた。労働組合がなぜ必要で、どんな意義があり、あるべき労使関係とはどのようなものかを、青女世代からしっかりと議論してい

女性の特例執行委員を中心に女性専従者を一人でも増やせるように執行部でも具体的に話を進めていきたい。また、女性の代議員数についても組織人員の女性比率がさらに増やせるよう、男女平等参画推進委員会や執行委員会の中で提起して取り組みたい。

世の中の賃金が上がっていくスピードに対して若干追いつけていないこともあり、あえて高い数値目標、要求水準を取り組んできた。各単組の中で制度改善でも賃金改善でも一歩ずつ取り組んでいくことが大事であり、今後も月例賃金にこだわ

これからの生産年齢人口が減っていく中で、労働力確保は重要な課題である。これから新しく立ち上げるプロジェクトで議論していく内容を政策課題ともリンクしてやっていきたいと考えている。高齢化と生産年齢人口の減少、第4次産業革命の到来によっても、雇用

我々もいろんな武器を提示していきたくて、賃金実態調査も含めて協力をお願いする。

九州の鉄道ネットワークの維持が非常に難しいことだということも重々承知しており、他のエリアにとっても共通の課題である。上場会社を支援することは難しいが、地域公共交通としての鉄道の取り扱いや位置づけを見直す必要がある。

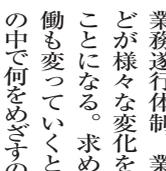
必ず感情論や利害関係で衝突が起きるが、時間をかけて合意形成していくことが必要である。今、国に訴えていることは、専門的な知識を持ったコーディネーターの必要性である。また、青函共用走行区間の課題については現行の輸送体系に対する配慮は非常に重要だが、JR北海道の事業範囲の見直しとJR貨物の「選択と集中」をもセツトで検討していくことが必要。これらについては緊要の課題として、関係単組と

連携し政策提言を行っており、議員懇話会とも連携を強化していく。四国の新幹線については、2017年度の予算において幹線鉄道ネットワークのあり方に関する調査費が増額された。大臣答弁でも明確な考え方は運動方針の示したとおりである。この間の組織戦略会議などで各単組とも議論させていた。JR連合への総結集に向けて取り組んでいくことに何ら変わりないことを改めて訴えさせていた。

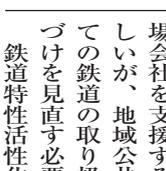
連携し政策提言を行っており、議員懇話会とも連携を強化していく。四国の新幹線については、2017年度の予算において幹線鉄道ネットワークのあり方に関する調査費が増額された。大臣答弁でも明確な考え方は運動方針の示したとおりである。この間の組織戦略会議などで各単組とも議論させていた。JR連合への総結集に向けて取り組んでいくことに何ら変わりないことを改めて訴えさせていた。



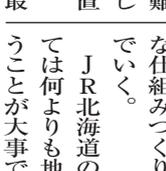
中山政治部長



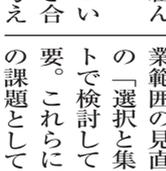
中山政治部長



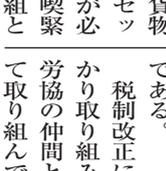
中山政治部長



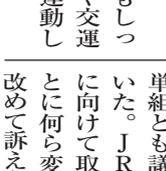
中山政治部長



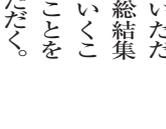
中山政治部長



中山政治部長



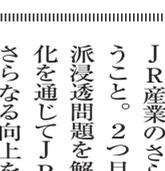
中山政治部長



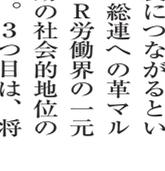
中山政治部長



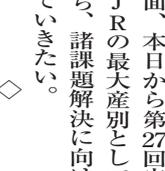
政所 政策調査部長



政所 政策調査部長



政所 政策調査部長



政所 政策調査部長



政所 政策調査部長

答弁(要)

JR連合総体の力量を高める 河村事務局長

12名の代議員の皆さんから発言をいただいた。執行部としてしっかりと受けとめ、向こう1年間の運動の展開を図っていく上で、討論内容を肉づけしながら反映していくことを、まずもってお約束させていただいた。

JR連合結成から25年が経過し、これまでの成果と反省を踏まえ、今後も運動を確実に実践していくことが重要である。JR連合は、5年前の2012年、先人先輩方が結成20年の節目に4つの取り組みを柱とする未来宣言を発信した。

1つは、安全の確立であり、安全最優先の企業風土、職場風土をつくり上げ、国民の皆様への信頼と期待に応えることがJR産業のさらなる発展につながるという。2つ目は、JR総連への革マル派浸透問題を解決し、JR労働界の一元化を通じてJR労働運動の社会的地位のさらなる向上を図ること。3つ目は、将来にわたって夢と希望が持てるJR産業にするため、JRにかかわるさまざまな政策課題の実現を図り、JR産業の発展につなげること。

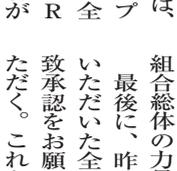
4つ目は、グループを含む全てのJR関係者からなる「JR連合」の形成を促すこと。最後に、昨日から本日まで提案させていただいた全ての案件に対して、満場一致承認をお願いし、総括答弁とさせていただきます。これからもともに頑張ろう。

今後JR連合は、JRという社会的使命や役割がある基幹産業で働く労働組合としての自覚と自信を持って、JRの発展とJR関係職場で働く全ての組合員とその家族の幸せの実現をめざし、労働組合全体の力量を高めていきたい。

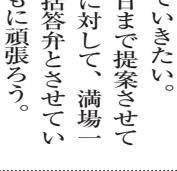
私たちがJR連合は、JR連合結成以前と未来宣言を忘れることなく、今後も運動を力強く展開していかねばならない。運動方針で提起した安全確立の課題、交通政策と労働政策、民主化闘争をはじめとする組織課題、グループ労組の組織強化の課題、青年・女性委員会の課題、男女平等参画の課題、政治課題などについて、当面、本日から第27回定期大会までの間、JRの最大産別としての責任と自覚を持ち、諸課題解決に向けて取り組みを図っていききたい。



中山政治部長



中山政治部長



中山政治部長



吉田 組織部長



吉田 組織部長

結成25周年記念レセプション あるべき労使関係で 未来のJR産業を創りあげていく

第26回定期大会の開催に併せて「JR連合結成25周年記念レセプション」を開催した。連合、交運労協、関係産別、JR連合国会議員懇談会と21世紀の鉄道を考える議員フォーラムに所属する47人の国会議員・秘書、友誼団体、JR各社の幹部、歴代JR連合会長・専従者・職員、大会代議員・傍聴者ら総勢320人が出席した。

来賓として連合の南部美智代副事務局長、議員懇会長の高木義明衆議院議員に祝辞をいただいた。また、JR会社代表として、昨年株式上場を果たしたJR九州の青柳俊彦社長にご挨拶をいただき、株式上場はこの間の労使の取り組みの成果であることをお話しいただいた。また、終盤国会のご多忙の中、民進党代表の連舫参議院議員にも駆けつけていただきご挨拶をいただいた。

JR連合の未来にむけた鏡割りに



議員懇・フォーラムを代表し、引き続きの連携を約束する川端衆議院議員(衆議院副議長)



結成25周年記念レセプションに駆けつけ、JR連合の安全確保の取り組みに敬意を表す民進党・連舫代表

は、南部連合副事務局長、住野交運労協議長、高木議員懇会長、連舫民進党代表、金子JR東海副社長、緒方JR西日本常務、半井JR四国社長、青柳JR九州社長、坪井交運共済理事長、葛野三代会長、明石四代会長、角田五代会長にご協力いただき、この日のために準備した記念の餅で出席者に振る舞った。

また、議員フォーラムを代表として川端達夫衆議院副議長からも祝辞をいただくとともに、JR連合歴代会長からもそれぞれご挨拶をいただいた。結成以来25年積み上げてきた

JR連合運動を糧にこれからのJR産業をあるべき労使関係で創りあげていくことを確認し合う記念行事となった。

安全対策委員会の中で隠蔽とか、虚偽の報告に対する議論もしてほしいという発言については、今年の10月の安全シンポジウムではヒューマンエラーをテーマとして取り上げる。シンポジウムの中でしっかりとした議論ができるように今後準備を進めていく。



新倉 特別執行委員

グループで働く女性社員組合員、役員との把握については、現在行っているグループ労組の組織状況調査で調査をしている段階である。

安全対策委員会の中で隠蔽とか、虚偽の報告に対する議論もしてほしいという発言については、今年の10月の安全シンポジウムではヒューマンエラーをテーマとして取り上げる。シンポジウムの中でしっかりとした議論ができるように今後準備を進めていく。

グループで働く女性社員組合員、役員との把握については、現在行っているグループ労組の組織状況調査で調査をしている段階である。

当該単組がまず主体的に行動することが必要である。これを支援単組とJR連合がしっかりと支援をしていく。JR連合としてもしっかりと今後とも取り組んでいくということをお約束したい。

○安全関係
提示した重大労災防止の行動指針ハンドブックを刊行し、各単組に配布する。グループ会社、協力会社でも活用してもらえようように取り組みの展開をお願いする。

○グループ労組関係
東海交通事業労働組合も9年ぶりのベアを獲得したことは非常に喜ばしい。しかし、まだ課題もあるというところで、グループ労組連絡会でも様々な課題を持ち寄って議論している。特に人手不足については各単組からも大きな課題として報告があり、JR連合としても認識している。引き続きグループ労組連絡会幹事会などで意見交換等を行っていく。

○新倉特別執行委員
この1年間、民主化闘争について青女としても尽力し、機運は高まっている。しかし、青女だけやる気があっても、民主化闘争の完遂は実現できない。その中で地協が美働部隊としてしっかりと動いていただくことが必要であると考えている。これには地協の中で、基本組織と青女組織がしっかりと連携を図り、同じ志を持って取り組んでいくことが必要不可欠である。民主化闘争は、JR総連について何も分からずに加入している良識のある組合員を救うための取り組みでもある。JR

R連合が結成された当初の理念を思い出し、今後はいっそう青女組織とも連携して民主化闘争の完遂に向けて取り組みをお願いしたい。(上村総合組織・政策局長)

今この状況のままでは、残念ながら箱根以西、以東で真つ二つのJR労働界という形になる可能性がある。そういう状況が許されて良いとは思わない。かつ、これだけ多数の革マル派を抱えたままではJRの安全性を保つことは出来ない。今すぐに解決できる問題ではないが、しっかりと産別として力をつけて、いざ決戦のときに備えるということではこれから重要だと考えている。

安全対策委員会の中で隠蔽とか、虚偽の報告に対する議論もしてほしいという発言については、今年の10月の安全シンポジウムではヒューマンエラーをテーマとして取り上げる。シンポジウムの中でしっかりとした議論ができるように今後準備を進めていく。

安全対策委員会の中で隠蔽とか、虚偽の報告に対する議論もしてほしいという発言については、今年の10月の安全シンポジウムではヒューマンエラーをテーマとして取り上げる。シンポジウムの中でしっかりとした議論ができるように今後準備を進めていく。

安全対策委員会の中で隠蔽とか、虚偽の報告に対する議論もしてほしいという発言については、今年の10月の安全シンポジウムではヒューマンエラーをテーマとして取り上げる。シンポジウムの中でしっかりとした議論ができるように今後準備を進めていく。

安全対策委員会の中で隠蔽とか、虚偽の報告に対する議論もしてほしいという発言については、今年の10月の安全シンポジウムではヒューマンエラーをテーマとして取り上げる。シンポジウムの中でしっかりとした議論ができるように今後準備を進めていく。

大会にご出席いただいたご来賓 (順不同) 敬称略



交運労協議長 住野敏彦



連合会長 神津里季生



上村 総合組織・政策局長



国会議員懇談会会長 衆議院議員 高木義明



民進党幹事長代理 衆議院議員 玉木雄一郎



衆議院議員 泉 健太



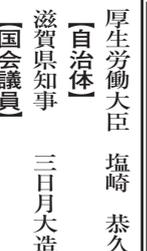
衆議院議員 岸本周平



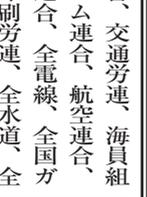
衆議院議員 伴野 豊



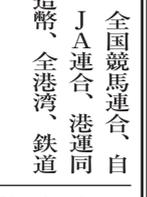
地方議員連合会 北海道協議会 菅原和忠



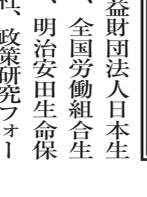
厚生労働大臣 塩崎 恭久



滋賀県知事 三日月大造



【国会議員】 大島章宏、緒方林太郎、川端達夫、近藤昭一、佐々木隆博、鈴木克昌、田島一成、田嶋要、辻元清美、津村啓介、野田佳彦、前原誠司、馬淵澄夫、柚木道義



【参議院議員】 石上俊雄、小川勝也、大塚耕平、古賀之志、小西洋之、小林正夫、難波奨二、野田国義、浜野喜文、福山哲郎、森本真治、矢田稚子、柳田稔

【(衆議院議員)】 松原 仁、辻元 清美

【(国会議員懇談会)】 榎葉賀津也 (代理・日高秘書)

【(ITF東京事務所)】 瀧 勝次

【(交運共済)】 坪井 義範

【(全労済)】 宮本 成幸

【(顧問)】 秋山 泰雄

【(歴代会長)】 葛野 和明

【(退職者連絡会)】 角田 修作

【(祝電・メッセージ)】 高野 富夫

【(官公庁)】 国土交通大臣 石井 啓一

【(労働団体・政党・友誼団体等)】 連合、交運労協、ITF、政策研究フォーラム、UAゼンセン、電機連合、電力連、運輸労連、私鉄総連、交通労連、航空連合、サイビス連合、全自交労連、国動車総連、電機連合、JA M、基幹労連、日教組、JP P労組、情報労連、生保労連、JEC連合、私鉄総連、フード連合、損保労連、国会、労金連合会、中央労金

【(国会議員)】 代理含む

【(衆議院議員)】 高木義明、小川淳也、岸本周平、佐々木隆博、細野豪志、古川元久、近藤昭一、赤松広隆、山根志枝里、古本伸一郎、鈴木克昌、岡田克也、川端達夫、田島一成、前原誠司、北神圭朗、平野博文、津村啓介、柚木道義

【(JR各社等)】 JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州、ジェイアールグループ健保組合、日本旅行、日本バス協会

【(自治体)】 滋賀県知事 三日月大造

【(国会議員)】 大島章宏、緒方林太郎、川端達夫、近藤昭一、佐々木隆博、鈴木克昌、田島一成、田嶋要、辻元清美、津村啓介、野田佳彦、前原誠司、馬淵澄夫、柚木道義

【(参議院議員)】 石上俊雄、小川勝也、大塚耕平、古賀之志、小西洋之、小林正夫、難波奨二、野田国義、浜野喜文、福山哲郎、森本真治、矢田稚子、柳田稔

【(労働団体・政党・友誼団体等)】 連合、交運労協、ITF、政策研究フォーラム、UAゼンセン、電機連合、電力連、運輸労連、私鉄総連、交通労連、航空連合、サイビス連合、全自交労連、国動車総連、電機連合、JA M、基幹労連、日教組、JP P労組、情報労連、生保労連、JEC連合、私鉄総連、フード連合、損保労連、国会、労金連合会、中央労金

【(国会議員)】 代理含む

【(衆議院議員)】 高木義明、小川淳也、岸本周平、佐々木隆博、細野豪志、古川元久、近藤昭一、赤松広隆、山根志枝里、古本伸一郎、鈴木克昌、岡田克也、川端達夫、田島一成、前原誠司、北神圭朗、平野博文、津村啓介、柚木道義

【(JR各社等)】 JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州、ジェイアールグループ健保組合、日本旅行、日本バス協会

大会宣言

私たちは本日、「東武ホテルレバント東京」で結成25周年となる記念すべき第26回定期大会を開催し、2017年度の運動方針を満場一致で確認した。

最優先課題である安全確立にむけた取り組みについては、福知山線列車事故をはじめとする重大事故を二度と引き起こさないとの強い決意に立ち、あらゆる経験、知見を結集し、さらなる安全性の向上と「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」にむけて愚直に取り組む。そして「安全指針(改訂版2016)」「重大労災行動防止ハンドブック(改訂版)」の活用に加え、ヒューマンエラーは結果であり原因ではないとの信念のもと、労使協議における提言などを通じて真に実効性ある安全対策を講じる。

そして、安全を基礎に、将来に亘り持続可能なJR産業構築にむけ、JRが抱える政策諸課題の解決を図る。交通政策については、鉄道特性活性化プロジェクトの具現化にむけて「チーム公共交通」「チーム地域共創」の形成をめざし、持続可能な地域公共交通のあり方について働く者の立場から政策提言に取り組むこととし、JR北海道をはじめ、JR四国やJR貨物の自立経営にむけた諸課題の前進を図る。また、2017年度末で適用期限切れとなる軽油引取税の免税措置をはじめとする税制特例措置への対応、自然災害による被災への対応及び防災・減災対策、整備新幹線に係る諸課題、貨物鉄道へのモーダルシフト、あるいはバス産業の構造的な問題など、喫緊の課題に対処すべく政策提言・実現力を発揮することとする。労働政策については、深刻な労働力不足や第四次産業革命の到来を念頭に置きつつ、働きがいをもって働き続けることのできる労働条件と労働環境について議論を深度化し、「中期労働政策ビジョン(2014~2018)」で示した、すべてのJRグループに働く者の目標到達にむけて、2018春季生活闘争及び労働協約改訂交渉における加盟各単組及びエリア連合の取り組みを強化する。

また、革マル派浸透の危険性や運動の異常性について、内外に警鐘を鳴らす取り組みをいっそう強化し、「あるべき労働組合像・労使関係像」の実現にむけ、JR労働界から過激派組織を一掃し、民主的な労働運動の確立を目的に、JR連合、民主化当該単組、支援単組が三位一体となって、引き続き組織強化・拡大、民主化闘争の総行動を展開する。

一強政治体制の中で、丁寧な合意形成が失われている今こそ、雇用と暮らしの安心、健全な民主主義を求め、私たち国民、労働者が立ち上がらなければならない。来るべき衆議院解散・総選挙および参議院選挙、地方選挙にむけて私たちの声を政治の場に届ける仲間を一人でも多くつくり、連携し、政策課題と組織課題の解決に取り組む。

これらの多くの課題に対して、先人先輩のこれまでの労苦に敬意を表しつつ、JRを代表する産別としての責任と自覚を持ち、本大会の議論を踏まえて、組織を挙げて次代につなげる運動を積極果敢に展開していく決意を表明する。

以上、宣言する。

2017年6月13日

日本鉄道労働組合連合会(JR連合) 第26回定期大会